

第5学年 社会科学習指導案

日時 平成25年11月15日(金) 5校時
場所 宮古市立鍛ヶ崎小学校 5年1組教室
学級 5年1組 男子13名 女子13名 計26名
指導者 竹内 勇

1 単元名

工業生産を支える人々 「工業の今と未来」

2 単元について

(1) 教材について

本小単元は、学習指導要領の内容「(3) 我が国の工業生産について、調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにすること。」をねらいとしている。

主な学習内容は、我が国で生産されている工業製品の種類やそれらを生産する工場が集まっている主な工業地域の分布について分布図や統計資料、取材資料などを活用して調べることである。また、中小工場の工夫や特色などについても調べ、そこから人々の心を豊かにするために、日本の工業にどんな工夫が求められているのかを探り、自分がこれから工業とどのようにかかわっていくのかを考えていくことである。

実際の指導に当たっては、身近な中小工場であるFBを取り上げ、中小工場の様子や工夫や努力をつかませたい。このFBという工場は、山田町にあるマイクロコネクタを製造している会社で、1社で金型設計から生産までしている、従業員256名の中小工場である。大工場のヒロセ電機の関連会社で年商は42億円(平成23年度)にも上る。宮古地域はコネクタを製造する会社が多く、さまざまな電子機器のうち、約7割のコネクタが宮古地域で生産されているという。このことから、教材として子どもたちに学ばせる価値があると考えられる。

なお、本小単元は、「自動車を作る工業」の学習、そして、「工業生産と貿易」の学習を受け、「心を豊かにする工業」につながっていく。日本の工業の現状や特色について、自分たちの身近にある工業製品を調べる活動から、具体的な中小工場の様子、わが国の工業生産のあり方へと学習を展開することにより、調べたり考えたりする観点を明確にして、学習を進められるようにしていく。

(2) 児童の実態

子どもたちは、社会科の学習に意欲をもって取り組んでいる。1学期には都道府県クイズに向けて自主的に学習し、ほぼ都道府県に関しては位置関係と名称が一致できている。また、食料生産の学習では、中学年の地域学習で浅く身に付けていた水産業の様子を詳しく知ったり、食料の多くを輸入しているということに驚いたりして学習に取り組んできた。工業生産では、自動車工場の様子にとっても興味をもって、製造工程や工夫や努力を調べることができた。その際、教科書や資料集から調べたいことを取捨選択してまとめることもできる。しかし、食料生産や工業生産の現状についての知識は個人差が大きく、調べるのに時間がかかる児童や事実をもとになぜそうなるのか理由づけて説明するのも苦手としている児童もいる。

(3) 指導にあたって

本単元では工業のさかんな地域としての土地の条件や交通網の発達という条件、大工場と中小工場のちがいを、役割をしっかりとおさえさせたい。そのために、単元の導入の段階では自動車とは別に、身の回りの工業製品を分類することで、意欲を高めていきたい。追究の段階では貿易や交通網の発達によるものが大きいこと、日本の工業生産を支えているのは中小工場であることを、地元の企業のインタビューや資料をもとに丁寧に考えさせていきたい。そして、まとめの段階では、工業生産に携わる人の工夫や努力が、生活を豊かにしていることに気づかせ、日本の工業生産についてまとめさせたい。

また、調べる活動では、自分の言葉でまとめたり、調べたことを発表したりするなどの言語活動を充実させることで、事実を明確にとらえさせるようにしたい。また、事実と関連付けたり友達の考えと比較したりすることができるように発問や板書を工夫することで、事実をもとに考えることができるようにしていきたい。

3 単元の指導計画

(1) 目標

現在の日本の工業の特徴を理解したうえで、工業生産に従事している人々が、消費者の多様な需要に応え、環境に配慮しながら優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることをとらえることができる。

(2) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
・我が国の工業生産や工業地域の様子に関心を持ち、主な工業生産の種類、工業地域の分布や工業を支える人々の働きについて進んで調べ、これからの工業について積極的に考えるようとしている。	・我が国の工業生産や工業地域の様子について、その特色や現状を国民生活と関連付けて考えるとともに、わが国の工業生産が優れた技術をもって営まれ国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、適切に表現している。	・我が国の工業生産や工業地域の特徴や現状を、地図や統計、写真などの資料を活用して正しく読み取ってまとめている。	・我が国の各種の工業生産や工業地域の分布、工業生産を支える人々の働きが、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解し、その知識を身に付けている。

(3) 知識の構造図

<p>【学習指導要領との関連】 内容 (3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。 ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き</p>

<p>【中心概念】 ○ 我が国の工業生産（様々な工業製品）が国民生活を支えている。 ○ 我が国の工業生産に従事している人々が、消費者の多様な需要にこたえ、環境に配慮しながら、優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしている。</p>

【具体的知識】			
<p>工業は、機械・化学・金属工業などの重化学工業、食料品・繊維工業、窯業などの軽工業に分類される。日本の工業は、時代によって変化しており、外国からも多くの製品が輸入されるようになってきている。</p>	<p>工業のさかんな地域は、大都市周辺で働く人の確保ができるところ、海に面していて原材料の搬入や製品の搬出がしやすいところ、広い平野や近くに大きな川があるところ、交通が便利なところで、太平洋ベルトと呼ばれている。</p>	<p>大工場と中小工場が、それぞれの役割を果たすことで、工業製品が作られ、それによって国民の生活を支えている。</p>	<p>中小工場は、期限内に正確に作り、大工場により部品を届けるために、工夫や努力をしている。 中小工場は、高い技術をもっており、国民の生活を支えている。</p>
<p>中小工場では、使う人の願いが叶うようにするために新しいアイデアを生み出し、製品を作っている。</p>	<p>工業は、便利だけでなく、楽しさや喜び、心の豊かさを与えてくれるものである。</p>		

【基	本用	語等】				
<p>・軽工業（食料品・繊維工業、窯業）</p>	<p>・重化学工業（機械・化学・金属工業）</p>	<p>・工業地帯 ・工業地域 ・太平洋ベルト ・IC</p>	<p>・大工場 ・中小工場 ・生産額</p>	<p>・コネクター ・国民生活 ・高い技術力</p>	<p>・スローフード ・ダイオキシシン</p>	<p>・南部鉄器 ・少子高齢社会</p>

(4) 単元の展開 (全9時間)

段階	時	目標	主な学習活動・内容 【言】 主な言語活動	評価規準 (評価方法) 【評価の観点】
問題の把握	1	工業製品を調べたり、工業生産額の変化を読み取ったりすることで、日本の工業についての関心をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちの身の回りには、自動車の他にどんな工業製品があるか出し合う。【言】 広告のちらしにのっている工業製品の写真を切りぬいて、工業の種類別に分類する。 日本の工業生産額のグラフから、日本の工業生産の時代による変化を読み取る。 身の回りの工業製品が「MADE IN ○○」と書いてあるか調べる。そのことで海外からも多くの商品を輸入していることを捉え、日本の工業についての関心を高めることで学習問題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の工業の特色や工業と自分たちの暮らしについて関心を高めている。(ふりかえり・ノート) 【関】
		日本の工業には、どんな特色があるのだろうか。		
問題の追究	1	工業がさかんな地域を調べ、輸送に便利な海沿いに多いこと、交通網の発達により各地にも進出していることをとらえさせ、工業生産は貿易や交通の発達に支えられていることを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 工業がさかんなところについて話し合い、工場が多く集まるところの条件を予想する。 資料をもとにして調べ、工業がさかんな地域とその理由をとらえる。 最近では、海沿いではないところにも工場が進出していることをとらえる。その理由について話し合う中で、交通網の発達と関連付けて考える。【言】 	<ul style="list-style-type: none"> 工業がさかんな地域について、資料をもとに調べまとめている。 【技】 工業がさかんなわけについて、地理的・社会的条件とかかわらせながらとらえることができる。(発言、ふりかえり・ノート) 【知】
	1	大工場と中小工場での生産の違いを調べ、日本の工業の特色をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> 中小工場と大工場の写真を見ながら、工場数や生産額について話し合う。【言】 大工場と中小工場の生産の様子から見た、日本の工業の特徴をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや生産の様子から、大工場と中小工場の特色をとらえることができる。(ふりかえり・ノート) 【知】
	1 本時	中小工場の様子を調べ、大工場や国民生活を支えるために工夫や努力をしていることを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 大工場と中小工場を比較したグラフを読み取ることで、工場数や働く人の数は多いのに、生産額は大工場が多いことをとらえる。 コネクターをつくる上で、どのような工夫や努力をしているのか予想する。 中小工場の工夫や努力の様子について調べる。 F Bの生産額が増加している理由について考えを交流し合う。【言】 	<ul style="list-style-type: none"> コネクターの売りが伸びてきている理由や中小工場の役割について、工夫や努力、大工場や国民生活とのかかわりという観点でとらえている。(発言、ふりかえり・ノート) 【思】
	2	身近な地域にあるまち工場について調べ、その工場ならではの生産に取り組む様子や働く人たちのものづくりにかける思いをとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 東大阪市の工場数の移り変わりを調べ、これからの日本の工業がどのような工業を目指していったらよいか話し合う。 東大阪市の小中工場のレポートから、これからの工業生産についての取り組みについて調べる。 調べたことをもとに、これからの工業生産の在り方について自分の考えをまとめる。【言】 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の資料をもとに、これからの工業生産の取り組みについて調べ、わかりやすくノートにまとめている。(ノート) 【技】

	2	人々に楽しみや心の豊かさをあたえてくれる工業の大切さについて考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークのアトラクションや南部鉄器の写真を見て、人々に楽しみや心の豊かさをあたえる工業 製品について話し合う。 ・人々に楽しみや心の豊かさを与えてくれる工業について調べる。 ・調べたことを、発表資料をもとに交流する。 【言】 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに、人々の心を豊かにするために、工業が果たしている役割について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の心を豊かにするために、工業がどのような働きをしているのか考えることができる。 (発言、ふりかえり・ノート) 【思】
まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの日本の工業生産で大切なことは何かを話し合い、学習してきたことをまとめ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「これからの工業生産で大切なことは何か」をテーマに、これまで学習してきたことや資料をもとに話し合う。【言】 ・話し合いをもとに、自分の考えをノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことをもとにして、「これからの工業生産で大切なことは何か」考えることができる。 (発言、ふりかえり・ノート) 【思】

4 本時の指導

(1) 目標

地元の中小工場について調べ、コネクターの売上げが伸びてきている理由や中小工場の役割を、工場で働く人々の工夫や努力をもとに考えることができる。

(2) 評価

評価の観点	評価規準 (概ね満足できる状況B)	努力を要する児童への手だて
思考・判断・表現	コネクターの売上げが伸びてきている理由や中小工場の役割について、「工場で働く人々の工夫や努力をもとに考えることができるか」、また、「大工場や国民生活とのかかわりを考えることができるか」という観点でとらえているか、発言やノートをもとに評価する。	自動車工場の関連工場を思い出させながら、気を付けていることをとらえさせる。

(3) 指導構想

① 「事実をもとに考えさせる」にかかわって

本時で考えさせたいことは、「なぜ生産額が伸びているか」である。それを考えさせるために、次の2つの事実を大切にしたい。(ア)コネクターの製造過程における工夫や努力。(イ)グラフの読み取りをとおして、生産額が伸びていること。

(イ)については、中小工場で生産したものと自分たちの生活を関連付けて考えることは難しいと思われる。そこで、宮古地域で生産しているコネクターが日本国内の7割を占めているという事実を示すことで、大工場を支え、日本の工業生産を支えていることや自分たちの生活との関連についてとらえさせたい。

② 「言語活動」にかかわって

本時で大切にしたい言語活動を行う場面は主に2つある。

一つは、コネクターの作り方を調べたり説明したりする活動である。ここでは文章資料と写真資料とを関連づけながら行いたい。

もう一つは、生産額が伸びているわけを考える活動である。ここではさまざまな工夫や努力をしていること、大工場や国民生活とかかわりから考え、自分のことばで表現させ、互いの考えを交流させたい。

資料から考え、事実と結び付けることで思考力を育成していきたい。また、事実と関連付けたり、友達との考えを比較したりするように発問や板書を工夫したい。

(4) 展開

	学習活動と内容	指導上の留意点	資料等 ◇評価
導入 5分	1 前時の学習の確認をする。 2 コネクターを紹介し、大きさや1日の生産量をとらえる。 3 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 工場数や働く人は中小工場が多いのに、生産額では大工場が多いことをおさえる。 コネクターはどこに使われ、どのくらいの大きさか、また1日の生産量について紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場数・働く人の数・生産額のグラフ コネクター写真 コネクター実物 コネクターの紹介資料
	コネクターはどのようにして作られているのだろう。		
展開 32分	4 コネクターはどのように作られているか予想する。 ○こんなに小さいコネクターはどうやって作られているのだろうか。 5 資料を使ってコネクターの作り方を調べる。 (1) 文章資料から調べる。 (2) 写真資料と関連づけて説明する。 6 生産額が増加している事実を知る。 7 生産額が増加している理由を考える。 ○なぜ売りが伸びているのだろう。 8 中小工場の役割を考える。 ○中小工場がなくなったらどうなるのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> 「どのように」とは何があるか、視点を与える。 自動車の関連工場を想起させる。 機械で作っている、金属をプレスしている程度で予想させる。 作り方について文書資料からアンダーラインを引きながら調べる。 板書したものを見ながら写真資料と関連づけて説明させる。 グラフを提示し、売りが伸びていることを読み取らせる。 増加している理由として、働いている人の工夫や努力をおさえる。 自分で考えた後、ペアで交流させ、考えを広めたり深めたりしたい。 大工場とのかかわり、生活とのかかわりなど、整理して板書する。 F Bから日本全体の中小工場に置き換え、一般化する。 大工場を支えている、さらに日本の工業を支えていることをコネクターの占有率から考えさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場で働く人の話(紙資料) コネクターの製造の様子(写真) 生産額のグラフ 工場で働く人のインタビューVTR <p>◇コネクターの生産額が増加している理由について、根拠を明らかにしながら説明している。【思】(発言)</p>
終末 8分	9 学習のまとめをする。 10 次時の学習内容を知る。		
	コネクターは機械と働いている人の工夫や努力があって作られていることが分かった。F Bのような中小工場はさまざまな工夫や努力をして、大工場、日本の工業生産を支えている。自分たちの身の回りにある工業製品は、中小工場の高い技術力のおかげなのだと思います。		

(5) 板書計画

